

支援に向けて 特製お振る舞い



特製の短角牛スープギョーザを振る舞う久慈割烹着隊のメンバー



のぼりが掲げられたイベント会場土風館前の出展ブースにもぎわい会場に設置された募金箱。多くの支援が寄せられました

東日本大震災の復興支援イベント「がんばろう三陸（市観光物産協会など主催）」は4月15日から17日までの3日間、やませ土風館周辺で初開催されました。

同イベントは、売り上げの一部を久慈広域4市町村に寄付しようとするもの。計19店が出展し、郷土料理のほか、短角牛を使用したコロッケやハンバーガーなど自慢の逸品を販売しました。久慈割烹着隊は短角牛のスープギョーザの振る舞いも実施。市街地のにぎわいを被災地の支援につなげようと、会場にはお客を呼び込む元気な声が響きました。

同イベントは5月1日〜8日も、10時〜15時まで開かれます。

イベント・がんばろう三陸

にぎわいを支援に

活動で助けに

震災で互いに協力し合う大切さを実感。自分たちの活動を通し、被災した皆さんの助けになりたいです。



黒田悦子 さん
(出展者・大川目町)

INTERVIEW

少しでも

友達の家も津波の被害に。大変な状況ですがイベントで少しでも明るい雰囲気をつくれればと思います。



赤坂理沙 さん
(出展者・長内町)

編集後記

▶東日本大震災の発生から1カ月以上。厳しく、大変な状況であることに変わりはありませんが、沿岸部のがれきが撤去されていく様子を見ると、少しずつ前に進んでいると感じます

▶4月12日、山田町や大槌町、陸前高田市などを視察。見わたす限り無事な建物は一切なし。あまりの被害の大きさに言葉を失いました▶それでも、各沿岸市町村も復旧・復興に向けて立ち上がっています。山田町の電柱には「みんなで元気を取り戻そう!」という手書きのはり紙も。力強さを感じ、逆に勇気づけられました▶久慈も負けてはいられません。みんなで助け合い、力を合わせ、復旧と復興を進めていきましょう! (八重桜)



小向翔大 くん(5歳・左)
伶奈 ちゃん(3歳)
小向一也さん、聖子さんの孫(湊町)

ストークス リリー 優奈 ちゃん(2歳)

中村幸男さん、名美子さんの孫(山形町)



未就学の子どもの写真を募集します。写真と子どもの氏名などを添えて、広報くじ担当(☎02-2116)に応募ください。写真はお返しします。